

第1問 仕訳1つにつき4点、計20点

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	40,000	当座預金	10,000
			支払手形	28,000
			現金	2,000 f
	小切手は当座預金勘定、手形は支払手形勘定で処理する。 誰が負担するかの記事がないときには、引取運賃を当店が負担すると考える。			
2	貸倒引当金	8,000	売掛記	12,000
	貸倒損失	4,000		
	前期以前に発生した売掛金が貸し倒れ、貸倒引当金の残高があるときは、最初に、貸倒引当金を取り崩す。そして、貸倒引当金の残高を超えて貸し倒れたときは、貸倒損失勘定で処理する。			
3	損益	3,200	仕入	3,200
	1,200円(期首) + 3,000円(当期純仕入) - 1,000円(期末) = 3,200円 当期純仕入 = 当期総仕入 - 返品値引			
4	資本金	78,000	損益	78,000
5	減価償却累計額	100,000	備品	500,000
	減価償却費	75,000	固定資産売却益	35,000
	未収入金	360,000		
	売却日までの減価償却費(75,000円) = 500,000円 ÷ 5年 × 9ヵ月 ÷ 12ヵ月			

第2問 () 1つにつき2点、計10点

商品有高帳

○ 商品

平成○年		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
3	1	前月繰越	10	40	400				10	40	400
	4	仕入	10	40	400				20	40	800
	8	売上				6	40	240	14	40	560
	12	仕入	10	50	500				14	40	(560)
									10	50	(500)
	15	売上				14	40	560			
						6	50	300	4	50	(200)

売上原価の算出		売上総利益の算出	
月初商品棚卸高	400円	売上高	(1,880円)
当月商品仕入高	900円	売上原価	(1,100円)
合計	1,300円	売上総利益	780円
月末商品棚卸高	200円		
売上原価	1,100円		

第3問 () 1つにつき3点、計30点

合 計 試 算 表

平成×1年10月31日

借方合計	勘定科目	貸方合計
(238,500)	現 金	(52,000)
80,000	当座預金	(16,000)
43,000	受取手形	38,000
220,000	売掛金	(88,000)
40,000	繰越商品	
10,000	仮払金	
50,000	貸付金	50,000
(321,200)	建物	
30,000	立替金	
12,000	支払手形	(76,000)
(40,000)	買掛金	236,000
	借入金	20,000
	前受金	12,000
	資本金	532,000
20,000	売 上	(618,000)
	受取利息	(500)
360,000	仕入	
15,000	支払地代	
96,000	給料	
800	修繕費	
80,000	支払家賃	
30,000	通信費	
12,000	租税公課	
40,000	水道光熱費	
1,738,500		(1,738,500)

(取引の仕訳)

		借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
26 日	a	現 金	50,000	資 本 金	50,000
	b	建 物	1,200	当 座 預 金	2,000
		修 繕 費	800		
		修繕などにより固定資産の価値が増加したときは、固定資産として処理する。固定資産の価値が増加しなければ、修繕費（費用）として処理する。 「耐用年数が延長する」ということは、建物の価値が増加することになる。			
27 日	a	仮 払 金	10,000	現 金	10,000
	b	現 金	40,000	売 掛 金	40,000
		他店振出の小切手は、現金勘定で処理する。			
	c	買 掛 金	16,000	支 払 手 形	16,000

29 日	a	現金	50, 500	貸付金 受取利息	50, 000 500
		50, 000 円×3%×4 カ月÷12 カ月＝500 円が利息である。			
	b	現金	60, 000	売上	60, 000
		郵便為替証書は、現金勘定で処理する。			
	c	売上	20, 000	売掛金	20, 000
30 日	a	仕入	80, 000	受取手形	30, 000
				買掛金	50, 000
	b	立替金	30, 000	現金	30, 000

第 4 問 ※印 1 つにつき 2 点、計 10 点

繰越商品						売上					
1/1	前期繰越	12, 000	12/31	仕入	12, 000	12/31	損益	98, 000	5/6	売掛金	98, 000
12/31	仕入	13, 000	12/31	次期繰越	13, 000※			98, 000			98, 000
		25, 000			25, 000						
仕入						損益					
3/1	買掛金	29, 000	10/1	買掛金	3, 000	12/31	仕入	74, 000	12/31	売上	98, 000※
6/1	現金	23, 000	12/31	繰越商品	13, 000※	12/31	資本金	24, 000※			
9/9	支払手形	26, 000	12/31	損益	74, 000			98, 000			98, 000
12/31	繰越商品	12, 000※									
		90, 000			90, 000						

【解説】

問題を見ると、期首商品棚卸高が 12,000 円で、当期純仕入高が 75,000 円、売上原価が 74,000 円であることが分かる。
よって、期末商品棚卸高は、(12,000 円＋75,000 円)－74,000 円＝13,000 円となる。

第 5 問 () 1 つにつき 3 点、計 30 点

損 益 計 算 書

平成×1 年 1 月 1 日～平成×1 年 12 月 31 日 (単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	(378,400)	売 上 高	757,000
減 価 償 却 費	(28,800)		
貸倒引当金繰入	2,500		
給 料	96,000		
租 税 公 課	(15,000)		
支 払 家 賃	(74,000)		
通 信 費	30,000		
支 払 地 代	(16,500)		
当 期 純 利 益	(115,800)		
	757,000		757,000

貸 借 対 照 表

平成×1年12月31日

(単位：円)

資 産	金 額	負債及び純資産	金 額
現 金	35,000	支 払 手 形	60,000
当 座 預 金	(50,000)	買 掛 金	186,000
売 掛 金	250,000	借 入 金	30,000
貸 倒 引 当 金	7,500 (242,500)	未 払 費 用	(1,500)
貸 付 金	33,000	資 本 金	206,000
商 品	28,000	当 期 純 利 益	115,800
前 払 費 用	(6,000)		
備 品	320,000		
減 価 償 却 累 計 額	115,200 (204,800)		
	599,300		599,300

(決算整理事項等の仕訳)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	租 税 公 課	3,000	現 金	3,000
2	売 掛 金	30,000	当 座 預 金	30,000
3	仕 入	40,000	繰 越 商 品	40,000
	繰 越 商 品	28,000	仕 入	28,000
4	貸 倒 引 当 金 繰 入	2,500	貸 倒 引 当 金	2,500
	(220,000円+30,000円)×3%-5,000円=2,500円			
5	前 払 家 賃	6,000	支 払 家 賃	6,000
6	減 価 償 却 費	28,800	減 価 償 却 累 計 額	28,800
	(320,000円-320,000円×10%)÷10年=28,800円			
7	支 払 地 代	1,500	未 払 地 代	1,500